

HyConnect/オープンパブリック サービス仕様書

2019年4月10日

以下のサービスの一部は、次に定める日程で提供を終了します。

2019年7月31日：東日本リージョン1において提供するサービスすべて

2020年1月14日：すべてのリージョンにおける下表のサービス

カテゴリ/メニュー		
ベーシック サービス	OS/テンプレート (ISO, テンプレート)	Windows Server 2008 R2 SE 64bit 日本語版 Windows Server 2008 R2 EE 64bit 日本語版
		Windows Server 2008 R2 SE 64bit 英語版 Windows Server 2008 R2 EE 64bit 英語版
	OS/テンプレート (イメージ持込み)	Windows Server 2008 R2 SE 64bit 日本語版サポート付 Windows Server 2008 R2 EE 64bit 日本語版サポート付
		Windows Server 2008 R2 SE 64bit 英語版サポート付 Windows Server 2008 R2 EE 64bit 英語版サポート付
		Windows Server 2008 R2 SE 64bit 英語版サポート付 Windows Server 2008 R2 EE 64bit 英語版サポート付
		Windows Server 2008 R2 EE 64bit 英語版サポート付

1. リージョンについて

本サービスでは、仮想システムを東日本リージョン1、東日本リージョン2、西日本リージョン1の3リージョンで提供します。各リージョンは独立しており、リージョン毎に後述の「2. サービスの構成と内容」を提供します。

2. サービスの構成と内容

本サービスのメニュー構成は下表のとおりです。各メニューの内容は後述のとおりです。

カテゴリ/メニュー			選択 条件	内容・備考等
ベーシック サービス	仮想マシン (標準)	XS~XL32	必須	<ul style="list-style-type: none"> 本サービスを利用するための必須サービスです。本サービスホームページから追加や削除の選択が可能です。
	仮想マシン (物理 CPU 固定)	XS-F~XL32-F		
	OS/テンプレート (ISO, テンプレート)	Windows Server, Red Hat Enterprise Linux, CentOS, 監視テンプレート		
	OS/テンプレート (イメージ持込み)	Windows Server, Red Hat Enterprise Linux, CentOS		
	ディスク	ルートディスク		
	標準機能	各種標準機能		
オプション サービス	ディスク	OS 用追加データディスク	任意	<ul style="list-style-type: none"> ベーシックサービスのオプションサービスです。任意で本サービスホームページから追加や削除の選択が可能です。
		スナップショット用 ディスク		
	ネットワーク	追加ネットワーク転送量		
		追加グローバル IP アドレス		
プレミアム サービス	ネットワーク	センター内 ハイブリッド接続	任意	<ul style="list-style-type: none"> 任意で書面による申込にて利用可能です。

(1) ベーシックサービス

a. 仮想マシン（標準）

vCPU とメモリを組み合わせた仮想マシンを本サービスホームページから選択可能です。

カテゴリ	メニュー			内容・備考等
仮想マシン (標準) (※1)	XS	0.5vCPU/1GB	0.8GHz 相当	・仮想マシンスペックに応じた vCPU /メモリを利用可能です。 ・vCPU はベストエフォートとなります。
	S1	1vCPU/1GB	1.6GHz 相当	
	S2	1vCPU/2GB	1.6GHz 相当	
	S4	1vCPU/4GB	1.6GHz 相当	
	M2	2vCPU/2GB	3.2GHz 相当	
	M4	2vCPU/4GB	3.2GHz 相当	
	M8	2vCPU/8GB	3.2GHz 相当	
仮想マシン (標準) (※1)	L4	4vCPU/4GB	6.4GHz 相当	・仮想マシンスペックに応じた vCPU /メモリを利用可能です。 ・vCPU はベストエフォートとなります。
	L8	4vCPU/8GB	6.4GHz 相当	
	L16	4vCPU/16GB	6.4GHz 相当	
	L32(※2)	4vCPU/32GB	6.4GHz 相当	
	XL16	8vCPU/16GB	20.8GHz 相当	
	XL32(※3)	8vCPU/32GB	20.8GHz 相当	

※1:仮想マシン（標準）と仮想マシン（物理 CPU 固定）の作成台数が合計 21 台以上となる場合、事前にご相談ください。

XenServer 基盤と VMware 基盤でご提供しております。

VMware 基盤は東日本リージョン 1 でのご提供はありません。

※2:L32 は、東日本リージョン 2 のみのご提供となります。

※3:XL32 は、東日本リージョン 1 でのご提供はありません。

b. 仮想マシン（物理 CPU 固定）

限定した物理サーバに搭載する仮想マシンを本サービスホームページから選択可能です。

カテゴリ	メニュー			内容・備考等
仮想マシン (物理 CPU 固定)(※4)	XS-F	0.5vCPU/1GB	0.8GHz 相当	・仮想マシンスペックに応じた vCPU /メモリを利用可能です。 ・vCPU はベストエフォートとなります。
	S1-F	1vCPU/1GB	1.6GHz 相当	
	S2-F	1vCPU/2GB	1.6GHz 相当	
	S4-F	1vCPU/4GB	1.6GHz 相当	
	M2-F	2vCPU/2GB	3.2GHz 相当	
	M4-F	2vCPU/4GB	3.2GHz 相当	
	M8-F	2vCPU/8GB	3.2GHz 相当	
	L4-F	4vCPU/4GB	6.4GHz 相当	
	L8-F	4vCPU/8GB	6.4GHz 相当	
	L16-F	4vCPU/16GB	6.4GHz 相当	
	L32-F(※5)	4vCPU/32GB	6.4GHz 相当	
	XL16-F	8vCPU/16GB	20.8GHz 相当	
	XL32-F	8vCPU/32GB	20.8GHz 相当	

※4:東日本リージョン 1 でのご提供はありません。

VMware 基盤は東日本リージョン 2 のみのご提供となります。

仮想マシン（物理 CPU 固定）の作成台数が合計 3 台以上となる場合、もしくは仮想

マシン（標準）と仮想マシン（物理 CPU 固定）の作成台数が合計 21 台以上となる場合、事前にご相談ください。

※5: L32-F は、東日本リージョン 2 のみのご提供となります。

c. OS/テンプレート (ISO、テンプレート)

選択した仮想マシンに適用させる OS を本サービスホームページから選択可能です。

カテゴリ	メニュー		内容・備考等
OS/ テンプレート (ISO、テンプレート)	Windows Server 日本語版 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※6)	テンプレート	・ ルートディスク容量は、40GB に固定されます。
		ISO	・ ルートディスク容量は、設定可能です。
	Windows Server 英語版 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※7)	ISO	・ ルートディスク容量は、設定可能です。
	Windows Server 日本語版サポート付 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※7)	テンプレート	・ ルートディスク容量は、40GB に固定されます。 ・ 富士通サポートデスクサービスが含まれます。富士通サポートデスクへのお問合せは平日 8:30～19:00 までの受付となります。
		ISO	・ ルートディスク容量は、設定可能です。 ・ 富士通サポートデスクサービスが含まれます。富士通サポートデスクへのお問合せは平日 8:30～19:00 までの受付となります。
	Windows Server 英語版サポート付 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※7)	ISO	・ ルートディスク容量は、設定可能です。 ・ 富士通サポートデスクサービスが含まれます。富士通サポートデスクへのお問合せは平日 8:30～19:00 までの受付となります。
	Red Hat Enterprise Linux サポート付 (Red Hat Enterprise Linux 6.4 32bit/64bit) (※8)	テンプレート	・ ルートディスク容量は、50GB に固定されます。 ・ サブスクリプションと富士通サポートデスクサービスが含まれます。富士通サポートデスクへのお問合せは平日 8:30～19:00 までの受付となります。
	CentOS (CentOS 5.9 32bit, CentOS 6.4 32bit/64bit) (※9)	テンプレート	・ ルートディスク容量は、15GB に固定されます。
		ISO	・ ルートディスク容量は、設定可能です。
	監視テンプレート	テンプレート	・ ルートディスク容量は、15GB に固定されます。

※6: Windows2012 SE 64bit および Windows2012 R2 SE 64bit は東日本リージョン 1 で

のご提供はありません。

※7: 東日本リージョン1 でのご提供はありません。

※8: 東日本リージョン1 でのご提供はありません。

VMware 基盤上のみでのご提供となります。

※9: VMware 基盤上での、CentOS 5.9 のご提供はありません。

CentOS はオープンソースソフトウェアとなります。

d. OS/テンプレート (イメージ持込み)

選択した仮想マシンに適用させるマイテンプレートを本サービスホームページから選択可能です。

イメージ持込みに関しては、弊社と別途ご契約していただき、V2V などによりイメージ化されたデータをマイテンプレート化する必要があります。

カテゴリ	メニュー	ライセンス提供	内容・備考等
OS/ テンプレート (イメージ持込み)	Windows Server 日本語版 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※10)	○	お客様保有のライセンスをご利用いただくことはできません。 Microsoft Services Provider License Agreement (SPLA) ライセンスをご提供させていただきます。(ライセンス条項に同意していただく必要があります)
	Windows Server 英語版 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※11)	○	
	Windows Server 日本語版サポート付 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※11)	○	
	Windows Server 英語版サポート付 (2008 R2 SE 64bit, 2008 R2 EE 64bit, 2012 SE 64bit, 2012 R2 SE 64bit) (SPLA 付) (※11)	○	
	Red Hat Enterprise Linux 6.4 (※12)	×	お客様保有のサブスクリプション(ライセンス)を利用することになります。また、お問合せは Red Hat 社のサポート窓口をご利用ください。
	CentOS 5.9 32bit (※13) CentOS 6.4 32/64bit	—	OSS のため、ライセンスフリーとなります。

※10: Windows2012 SE 64bit および Windows2012 R2 SE 64bit は東日本リージョン1 でのご提供はありません。

※11: 東日本リージョン1 でのご提供はありません。

※12: 東日本リージョン1 でのご提供はありません。

VMware 基盤上のみでのご提供となります。

持ち込み可能なサブスクリプションは下記 URL をご確認ください。その後の対応については弊社の担当営業までご相談ください。

<https://www.redhat.com/ja/technologies/cloud-computing/cloud-access>

※13: VMware 基盤上での、CentOS 5.9 のご提供はありません。

CentOS はオープンソースソフトウェアとなります。

e. ルートディスク

選択した仮想マシンに適用させるルートディスクを本サービスホームページから選択可能です。

カテゴリ	メニュー	内容・備考等
ディスク (※14)	ルートディスク	<ul style="list-style-type: none">・ テンプレート利用時は、当社指定の容量となります。・ ISO 利用時は、1TB を上限に、任意の容量を設定可能です。・ マイテンプレート利用時は、マイテンプレートの容量となります。

※14: ログイン ID あたりのディスク容量合計で 4TB を超えてご利用の場合は事前にご相談ください。

ログイン ID あたりのディスク（ルートディスク/OS 用追加データディスク）を合計 41 本以上作成してご利用の場合は事前にご相談ください。

f. 標準機能

本サービスホームページから下記標準機能を利用可能です。

カテゴリ	メニュー	内容・備考等
標準機能	本サービス ホームページ	<ul style="list-style-type: none">・ インターネット経由で仮想マシンの作成、設定変更、スナップショット取得、監視設定等の各種操作ができる WEB サイトを利用可能です。
	標準サポート	<ul style="list-style-type: none">・ ユーザーズガイドに対する質疑に回答します。・ 受付時間は 24 時間 365 日になります。・ 回答時間は当社営業日 9:00～17:00 となります(但し、12:00～13:00 を除く)。・ メールでの対応のみとなります。
	インターネット接続 (ベストエフォート 100Mbps)	<ul style="list-style-type: none">・ 送受信データ量 1.6TB/月まで、インターネット接続が可能になります。・ 1.6TB/月を超過した場合は、オプションサービス「追加ネットワーク転送量」が自動的に適用されます。
	グローバル IP アドレス	<ul style="list-style-type: none">・ 744 時間×IP (1IP 相当) 分のグローバル IP アドレスが利用可能です。・ グローバル IP アドレスを追加する場合は、オプションサービス「追加グローバル IP アドレス」が別途必要になります。
	仮想ファイアウォール	<ul style="list-style-type: none">・ 仮想ファイアウォールが利用可能です。本機能は VR または VPC により提供されます。
	仮想ロードバランサー	<ul style="list-style-type: none">・ 仮想ロードバランサーが利用可能です。本機能は VR または VPC により提供されます。
	監視(メール通知)	<ul style="list-style-type: none">・ 下記の監視機能が利用可能です。 サービス監視/リソース監視/プロセス監視/メッセージ監視

標準機能		<ul style="list-style-type: none"> ・本機能を利用する場合は、OS において「監視テンプレート」及び稼働させる仮想マシン等のリソースが必要になります。
	ユーザー管理機能	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のユーザーを任意に作成し、機能用途に合わせたユーザー管理を行う事が可能です。 <p><機能> アカウント情報変更 ユーザー作成、削除 仮想マシン等の作成、削除 課金閲覧</p>
	スナップショット	<ul style="list-style-type: none"> ・スナップショットの取得及びマイテンプレートを作成する事が可能です。 ・スナップショットはルートディスク、OS 用追加データディスク単位で取得可能です。 <p>手動または定期が選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手動でスナップショットを取得する場合、世代数は無制限です。定期でスナップショットを取得する場合、以下の通り世代数に制限があります。 <p><スナップショットの世代数> 日=31 世代 時間=24 世代 月=12 世代 週=5 世代</p>
	API 機能(※15)	<ul style="list-style-type: none"> ・仮想マシンの作成等の操作を本サービスホームページにログインせず実行するための API が利用可能です。
	IPsec VPN	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを経由する通信で、VPN 機能を利用可能です。 <p>-RemoteAccessVPN お客様のクライアント端末と本サービスの通信で使用可能です。本機能は VR により提供されます。1 つの VR で同時接続できる端末数は 8 台までです。9 台目以降の端末をご利用の際は、接続済の端末を切断してご利用ください。</p> <p>-Site To Site VPN お客様の VPN ルータと本サービスの通信で使用可能です。本機能は VPC により提供されます。1 つの VPC で同時利用可能な VPN ルータは 4 台までです。5 台目以降の VPN ルータをご利用の際は、接続済の VPN ルータを切断してご利用ください。</p>

※15: API [Application Programming Interface]

(2) オプションサービス

a. OS 用追加データディスク/スナップショット用ディスク

本サービスホームページから追加選択することで利用可能です。

カテゴリ	メニュー	内容・備考等
ディスク	OS 用追加 データディスク (※16)	・仮想マシンに追加可能なディスクです。 ・仮想マシンあたりにルートディスクとは別に、下記の通り追加可能です。 -東日本リージョン 1 : 4 本まで -東日本リージョン 2/西日本リージョン 1 : 13 本まで
	スナップショット用 ディスク	・スナップショット/マイテンプレートを利用する際に必要な保存用ディスクです。

※16: ログイン ID あたりのディスク容量合計で 4TB を超えてご利用の場合は事前にご相談ください。

ログイン ID あたりのディスク (ルートディスク/OS 用追加データディスク) を合計 41 本以上作成してご利用の場合は事前にご相談ください。

b. 追加ネットワーク転送量/追加グローバル IP アドレス

本サービスホームページから追加選択することで利用可能です。

カテゴリ	メニュー	内容・備考等
ネットワーク	追加ネットワーク 転送量	・標準機能「インターネット接続」でのデータ転送量(送受信)が 1.6TB/月を超過した場合に自動的に適用されます。
	追加グローバル IP アドレス	・標準機能「グローバル IP アドレス」に追加してグローバル IP アドレスを利用可能です。 ・1 個～9 個まで追加可能です(※17)

※17: 追加グローバル IP アドレスを 10 個以上ご利用の場合は事前にご相談ください。

(3) プレミアムサービス

a. ハイブリッド接続

書面での申込みにより、当社データセンター内での構内接続をご利用可能です。

カテゴリ	メニュー	内容・備考等
ネットワーク	センター内 ハイブリッド接続	・当社データセンター内にある契約者の環境と本サービスを接続するための回線(L2 接続/1Gbps ベストエフォート)を利用可能です。 ・リージョンや構成により本サービスの機能が制限される場合があります。詳細はお問い合わせください。

(4) リージョン別の仕様差異

リージョン毎の仕様差異は下記の通りです。

a. ベーシックサービス

・仮想マシン（標準）

サービスメニュー		東日本 リージョン 1	東日本 リージョン 2		西日本 リージョン 1	
		XenServer	XenServer	VMware	XenServer	VMware
XS	0.5vCPU/1GB	○	○	○	○	○
S1	1vCPU/1GB	○	○	○	○	○
S2	1vCPU/2GB	○	○	○	○	○
S4	1vCPU/4GB	○	○	○	○	○
M2	2vCPU/2GB	○	○	○	○	○
M4	2vCPU/4GB	○	○	○	○	○
M8	2vCPU/8GB	○	○	○	○	○
L4	4vCPU/4GB	○	○	○	○	○
L8	4vCPU/8GB	○	○	○	○	○
L16	4vCPU/16GB	○	○	○	○	○
L32	4vCPU/32GB	—	○	○	—	—
XL16	8vCPU/16GB	○	○	○	○	○
XL32	8vCPU/32GB	—	○	○	○	○

・仮想マシン（物理 CPU 固定）

サービスメニュー		東日本 リージョン 1	東日本 リージョン 2		西日本 リージョン 1	
		XenServer	XenServer	VMware	XenServer	VMware
XS-F	0.5vCPU/1GB	—	○	○	○	—
S1-F	1vCPU/1GB	—	○	○	○	—
S2-F	1vCPU/2GB	—	○	○	○	—
S4-F	1vCPU/4GB	—	○	○	○	—
M2-F	2vCPU/2GB	—	○	○	○	—
M4-F	2vCPU/4GB	—	○	○	○	—
M8-F	2vCPU/8GB	—	○	○	○	—
L4-F	4vCPU/4GB	—	○	○	○	—
L8-F	4vCPU/8GB	—	○	○	○	—
L16-F	4vCPU/16GB	—	○	○	○	—
L32-F	4vCPU/32GB	—	○	○	—	—
XL16-F	8vCPU/16GB	—	○	○	○	—
XL32-F	8vCPU/32GB	—	○	○	○	—

・OS/テンプレート（テンプレート）

サービスメニュー	東日本 リージョン 1	東日本 リージョン 2		西日本 リージョン 1	
	XenServer	XenServer	VMware	XenServer	VMware
Windows Server 2008 R2 日本語版	○	○	○	○	○
Windows Server 2008 R2 日本語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2008 R2 英語版	—	—	—	—	—
Windows Server 2008 R2 英語版(サポート付)	—	—	—	—	—
Windows Server 2012 日本語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 日本語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 英語版	—	—	—	—	—
Windows Server 2012 英語版(サポート付)	—	—	—	—	—
Windows Server 2012 R2 日本語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 日本語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 英語版	—	—	—	—	—
Windows Server 2012 R2 英語版(サポート付)	—	—	—	—	—
Red Hat Enterprise Linux XS/S/M/L 用(サポート付)	—	—	○	—	○
Red Hat Enterprise Linux XL 用(サポート付)	—	—	○	—	○
CentOS5.9	○	○	—	○	—
CentOS6.4	○	○	○	○	○
監視テンプレート	○	○	○	○	○

・OS/テンプレート（ISO）

サービスメニュー	東日本 リージョン 1	東日本 リージョン 2		西日本 リージョン 1	
	XenServer	XenServer	VMware	XenServer	VMware
Windows Server 2008 R2 日本語版	○	○	○	○	○
Windows Server 2008 R2 日本語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2008 R2 英語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2008 R2 英語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 日本語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 日本語版(サポート付)	—	○	○	○	○

Windows Server 2012 英語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 英語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 日本語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 日本語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 英語版	—	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 英語版(サポート付)	—	○	○	○	○
Red Hat Enterprise Linux XS/S/M/L 用(サポート付)	—	—	—	—	—
Red Hat Enterprise Linux XL 用(サポート付)	—	—	—	—	—
CentOS5.9	○	○	—	○	—
CentOS6.4	○	○	○	○	○
監視テンプレート	—	—	—	—	—

・ディスク

サービスメニュー	東日本リージョン1	東日本リージョン2	西日本リージョン1
ルートディスク (ISO イメージ分)	リージョン別差異なし		
ルートディスク (テンプレート分)	リージョン別差異なし		
その他標準機能	リージョン別差異なし		

b. オプションサービス

・ディスク

サービスメニュー	東日本リージョン1	東日本リージョン2	西日本リージョン1
OS 用追加データディスク	4 本(1VM あたり)	13 本(1VM あたり)	13 本(1VM あたり)
スナップショット用ディスク	リージョン別差異なし		

・ネットワーク

サービスメニュー	東日本リージョン1	東日本リージョン2	西日本リージョン1
追加ネットワーク転送量	リージョン別差異なし		
追加グローバル IP アドレス	リージョン別差異なし		

c. プレミアムサービス

サービスメニュー	東日本リージョン1	東日本リージョン2	西日本リージョン1
センター内ハイブリッド接続	リージョン別差異なし		

3. 前提条件

- (1) 本サービスは、契約者が当社所定の方法で当社に申込を行い、当社が申込を受け付け、当該ホームページを利用するため、契約者がユーザーズガイド等に記載された設定作業を完了させた時点で利用可能となります。
- (2) 本サービスは利用可能となった時点から、本サービスのトライアルにて契約者が作成

した仮想システムがある場合はその状態が自動的に引き継がれ、当日 0:00 から課金対象となります。

インターネット接続および追加ネットワーク転送量の転送量は、トライアルにて利用した転送量も含めて課金対象となります。料金月を跨げばリセットとなります。

4. 課金の仕組み

(1) 課金体系

本サービスには従量課金と月額課金があり、それぞれ下記の様な課金体系となっており、月末締めにて課金計算を行います。

a. 従量課金/従量型

料金月内の利用量、利用時間に応じた数量に従量単金をかける形態で、料金月分を当月課金します。

b. 従量課金/更新型

利用時間に関わらず、料金月末時点の利用数量に更新単金をかける形態で、翌月更新料として当月課金します。

なお、利用開始月は、料金月内の利用数量、利用日数に応じた日割り計算を行い、更新単金をかける形態で、料金月分を当月課金します。

c. 月額課金

利用時間に関わらず、申込量に応じた数量に月額単金をかける形態で、料金月分を当月課金します。

(2) 対応表

各サービスと課金体系の対応は下表のとおりとなります。

カテゴリ/メニュー			課金体系
ベーシック サービス	仮想マシン (標準)	XS~XL32	従量課金/従量型 従量課金/更新型
	仮想マシン (物理 CPU 固定)	XS-F~XL32-F	従量課金/従量型 従量課金/更新型
	OS/テンプレート (ISO, テンプレート)	Windows Server, Red Hat Enterprise Linux, CentOS, 監視テンプレート	従量課金/従量型
	OS/テンプレート (イメージ持込み)	Windows Server, Red Hat Enterprise Linux, CentOS	
	ディスク	ルートディスク	
	標準機能	各種標準機能	
オプション サービス	ディスク	OS 用追加データディスク	従量課金/従量型
		スナップショット用ディスク	
	ネットワーク	追加ネットワーク転送量	
		追加グローバル IP アドレス	
プレミアム サービス	ネットワーク	センター内 ハイブリッド接続	月額課金

5. サービス提供時間

本サービスの提供時間は 24 時間 365 日とします。ただし下記事項はサービス提供時間の

対象外とします。

- ・メンテナンスなどの定期保守に基づくサービス停止
- ・セキュリティ上の問題など、やむを得ない場合の緊急保守によるサービス停止

6. メンテナンス

前各号の作業実施前後には、本サービスホームページ内にて事前通知と完了通知を行います。ただし緊急時のメンテナンスについては、事後となる場合があります。

7. サービス仕様としての仮想マシンの停止

- ・共用リソース基盤の資源平準化を目的とした仮想マシンの移動に伴う瞬断
- ・共用リソースである物理サーバの故障に伴う別物理サーバでの仮想マシンの再起動
- ・契約者の本サービスホームページ及び API からの操作による仮想マシンの停止等

8. サービスレベルについて

サービスレベルはログイン ID 単位で規定されるものとします。

- ・仮想マシン月間稼働率は、ログイン ID 単位で算定されるものとします。
- ・差し引き金額の算出対象となる利用料金は、仮想マシンの月間稼働率が、当社規定を下回ったことを当社が認めたログイン ID の利用料金に限られるものとします。

9. 制限事項

(1)利用条件が下記に該当する場合は、本サービスはご利用できません。

- a. TCP/IP 以外の独自プロトコルを使用するシステムとして利用する場合。(例：FNA、SNA、HNA)
- b. IPv6 を利用する場合。
- c. ハードウェアやローデバイスを直接参照し、読み書きを行うシステム(ミドルウェア/アプリケーション)を利用する場合。
- d. クラスタ環境を前提としたシステムを利用する場合。(例：Oracle RAC、MSCS)
- e. 仮想マシンを搭載する物理サーバ上でライセンス登録等を必要とするシステムを利用する場合。

(2)利用条件が下記に該当する場合、本サービスに適さないことを合意のうえ利用可能となります。

- a. 仮想化ソフトウェア(XenServer、VMware)上で動作を保証していない、または保守サポートされていないミドルウェア及びアプリケーションを使用する場合。

(3)本サービスの環境特有の制限事項は下記のとおりとします。

- a. 当社データセンターに入館し、実機からインストール/設定作業等はできません。リモートでの操作となります。サーバ機本体の DVD-ROM ドライブからのインストール等は行えません。
- b. 共用リソースである物理サーバへのリモートコンソール接続はできません。ハードウェア障害などの疑いがある場合は、当社にてハードウェア障害有無の確認作業を行います。
- c. サービス基盤に関するログ等の情報は提供できません。
- d. 仮想マシンの停止は必ず本サービスホームページ、または API から行う必要があります。仮想マシンから直接シャットダウンを行うと、本サービスは自動的に仮想マシンを起動します。

10. 免責事項

- (1) 当社は、本サービスにより利用される各 OS (Windows Server、Red Hat Enterprise Linux、CentOS)、仮想化ソフトウェア (XenServer、VMware) の機密性、可用性及び完全性につき、何ら保証するものではなく、各 OS 及び仮想化ソフトウェア自体の不具合等に基づき、契約者が被害を被った場合であっても、何ら責任を負わないものとします。
- (2) 当社は、提供する仮想マシンにつきセキュリティに関する事故が生じた場合であっても、当該事故が当社の故意または重大な過失による場合を除き、何ら責任を負わないものとします。
- (3) 当社は、契約者が禁止操作(※)を行ったことに起因して本サービスの全部または一部が利用できなくなったことにつき、何ら責任を負わないものとします。
※本サービス範囲外の操作や環境を破壊する行為等を指します。
- (4) 当社は、提供する仮想マシンが外部(インターネットからの悪意のある第三者等)からの不正侵入、または契約者の不手際により、本サービス全体または一部のサービス品質維持や品質確保が困難と判断した場合は、契約者の了解がなくても当該サーバをネットワークから分離できるものとし、その際に発生した契約者の損失には何ら責任を負わないものとします。

1 1. 協力義務

- (1) 当社が行うメンテナンス完了後の業務確認は、契約者自身の責任で行うものとします。
- (2) 不正侵入などのセキュリティ事故が発生した場合は、全面的に当社に協力するものとします。

以 上

附則（2019年4月10日）

本サービス仕様書は、2019年4月10日から適用されます。